

千歳市からのおねがい

車道や歩道への雪だしはやめましょう



除雪前に、施設帯や民地の雪を道路に出すと、除雪する雪の量が多くなり、交差点の雪山が高くなるなど、まわりの方の迷惑になります。また、除雪後の雪だしは道路が凹凸になり車や歩行者の通行の妨げになりますので絶対にやめましょう。

路上駐車はやめましょう



路上に車が駐車されていると、除雪することができず作業を中断するため、除雪時間が長くなります。自分1人くらいという気持ちがあまわりの迷惑となりますので、路上駐車は絶対にやめましょう。

間口の雪処理にご協力をおねがいします

大型の機械で除雪を行うため、各家庭の出入り口には、雪が残ってしまいます。市民のみなさまのご協力をお願いします。



施設帯の雪の堆積にご理解とご協力をお願いします

生活道路の施設帯は、道路の雪を堆積する場所です。



ニュースレターに関するお問い合わせ先



千歳市役所建設部道路管理課 TEL:24-3131
千歳市環境整備事業協同組合 TEL:24-1377

除排雪に関する情報



千歳市LINE公式アカウントで除雪情報を提供いたします。

除雪車の位置情報が確認できるようになりました。

URL https://www.chitose-josetsu.jp/josetsugps/imadoko/top_chitose/



※画像はイメージです

千歳

除雪に関する

ワークショップ便り

あずさ町内会版

2022年号

発行:令和4年

11月

作成:千歳市

道路管理課

「除雪地域懇談会」を開催しました!



懇談会の目的は?

地域のみなさんや除雪業者、市が協力し合い、より良い冬の生活環境を目指すため、ワークショップ形式により話し合いを行い、地域における「除排雪の課題」や「新しい提案」を基に除雪マップを作成し、今後の除雪作業の参考にすることを目的としています。

どんな内容の懇談会になったの?

千歳市の気象状況や除雪体制、除雪方法を基に、各町内会の地図に、実際に生活する上での地域の課題点や良かった点を話し合い、それらの情報を地図にまとめました。

懇談会の結果をどう活用するの?

作成した除雪マップを地域のみなさん、除雪業者、市の三者で情報共有するとともに、今後の除雪作業の参考とすることで、地域における生活環境の向上を目指します。なお、除雪マップについては、除雪従事者の交代に伴う引継ぎの際などに利用していきます。

「千歳市 除雪地域懇談会」

開催日時: 令和4年 5月24日(火)
18時30分 ~ 20時30分

会場: 千歳市防災学習交流センター そなえーる

出席者: 地域の皆さん 18名
千歳市職員 9名
千歳市環境整備事業協同組合 2名
除雪ブロック担当責任者 2名

※1 ワークショップとは
いろいろな立場、考え方がひとりの作業の共通体験を通じて意見を交換し、その意見を「共有する、認める、理解する」ことを通じて、問題や課題への対応の方向性を見出す「体験・参加型」の会議などのことをいいます。

できあがった除雪マップは裏面へ
(裏面の地図を参照)



あずさ町内会 除雪マップ

凡例

- 堆雪、雪山
- ゴミステーション
- 公園の活用
- 調整池・緑地
- 送電線

- 良かった点
- 課題
- 提案

除雪によるゴミステーション破損

ゴミステーション位置が雪山で覆われゴミステーションが破損
↓
結果的に町内会の責任となり、直すことになった！

除雪業者の技術向上を

地区によって除雪方法に違いがある

大雪時、幹線除雪は早かった

大雪時、生活道路は間引いても通れる道を確認してはどうか？

雪山が片寄せ

- ・生活道路全体的に雪山の片側が大きい
- ・中央線で4m確保を！

見通しの確保

雪山により信号機が見えないところがあった
信号機が見えるように！

ゴミの収集方法

- ・生活道路で除雪がされておらずゴミ回収車が入ると埋まることから回収不能に
- ・ゴミの回収しないことを「周知の方法」を考えてほしい

雪捨て場が必要

空き地などもなくなっている

公園を活用しては

公園柵を一時的に外し、雪入れをしては？

融雪槽の整備

融雪溝を作れないか？
温泉地などを参考に

空地、堆雪できる場の確保

民地など許可を取り堆雪場として調整、活用しては？

除雪による堆雪がいつも同じ家の前

平等に雪山を作ってほしい

情報発信の拡充

雪出し（道路に）している人がいるため、無くすように、除雪マナーの周知が必要

高齢者宅に目印をつけ、丁寧な除雪をしてほしい

調整池の活用

部分的にでも柵を外し堆雪場としては？

送電線下の活用

送電線下を堆雪場として活用しては？

あずさ町内会の重要課題

- 交差点の見通しの確保
- 情報発信の充実
- 雪堆積場の確保など雪捨て場が必要

公園の活用

ドーザーやロータリーで雪をいれては？
効率的な除雪を考えてみては？

交差点の見通しの確保

雪山がずっとあり、車が通れない。
幹線なので早い除雪を

北海道、国が協力して除雪を！

今後の千歳市の取り組み

- 交差点の見通しの確保
除雪作業時から雪山の高さを抑えるよう実施し、必要に応じて2次作業を行うことにより見通しの確保に努め、交通の円滑化と安全性の向上を図ります。特に、幹線道路と生活道路の交差点付近では、右側の雪山を低くするよう努めます。
- 情報発信の充実
市民生活にとって一番身近な生活道路では、「いつ除雪が入るのか」「どこを除雪しているのか」などの進捗状況や、今後の除排雪作業の予定などの情報を必要としています。また、交通や除雪作業の支障となる「雪出し」や「路上駐車」、新雪やザクザク路面での「スタック時の対応」、大雪に伴う「屋根からの落雪」などについても啓発する必要があります。そのため、除雪車の位置情報や除排雪作業予定、冬道におけるお役立ち情報などについて、市公式 LINE やホームページなどで情報発信の充実に努めます。

【個別の除雪対応のお願い】

ゴミステーション、消火栓、マンホールなど道路管理者以外が設置したものの除雪作業は、各管理者での対応をお願いします。

● 雪堆積場の確保など雪捨て場が必要

流通、都雪堆積場の雪堆積量を増やすため、両堆積場の雪を置く面積を広げることに加え、両雪堆積場の負担を軽減するため、市の除排雪作業による雪は、市内に点在する調整池や公園に投入するとともに、市有未利用地などを活用します。

いただいたご意見や提案を参考に、今後も地域力を活かした雪対策を進め、冬季における生活環境の向上に取り組んでいきます。

